

模擬株式会社 児童ら出店

仕入れから販売、決算体験

たつの市の小学5、6年生が1万〜2万円の資本金を元手に設立した模擬株式会社が12日、同市役所周辺で開催される「たつのふるさとフェスタ」で、菓子などの実践販売に挑戦する。「社長」や「財務部長」を務める児童らは「少しでも売り上げを増やせるよう頑張る」と意気込んでいる。（大場久仁彦）

会津若松商工会議所青年部（福島県）が2000年ラム「ジュニアエコノミー」に考案した起業教育プログラム



ふるさとフェスタに向けて打ち合わせをする「クローバーメンバー」（たつの市立龍野小で）＝写真は一部修整しています

たつの・あすフェスタ 菓子や小物用意

カレッジ（ジュニアエコノミー）を基に、仕入れから販売、決算まで販売の一連の流れを子どもたちが体験する。全国29か所で実施され、たつの市でも龍野商議所青年部などが13年から取り組み、今回が3回目。1チーム5〜6人で今年は8チームが参加し、保護者が株主として出資する。「わいわい部長」として会社をもち立てる。同社は、スペインの揚げ菓子「チュロス」と飲み物、ゴムで編んだアクセサリを販売する。インターネットを探したり、近隣の量販店などを歩き回ったりして、相場や安い仕入れ先を調べた。当日はおそろいのエプロンやベレー帽、リボン姿で店頭に立ち、チュロスは200食分をチョコレートやシロップで味付けして250円で提供する。毎月定額の小遣いを、自分でやりくりする習慣のない子もいる。「大人になるまでお金に関わることはなれ」と思っていた。計算は大変だけれど楽しい」と5人は口をそろえる。

子どもらは7月のセミナーで会社名や役職などを決め、9月の合宿では、店作りのプラン、何をいくらで売るかなどを検討。また、銀行員に扮した青年部員に、商品の魅力や利益見込みなどをアピールし、融資を依頼した。同青年部の福水錦之介・ジュニアエコノミー委員長（35）は「売り上げ目標の根拠を上手に説明できずに泣いてしまう子もいたが、計画を練り直して無事に融資が承認された」と話す。市立龍野小の児童による「Clover（クローバー）」は、6年生の岸本美玖さん（12）、津田彩音さん（12）、田路彩羽さん（12）が、それぞれ社長、商品部長、財務部長に就任。三木彩夢さん（12）は客の呼び込み担当「ニコニコ部長」を務め、5年生の圓山桃さん（10）が

過去のジュニアエコノミーでは、商品はほぼ完売。1人3000円の「役員報酬」を出したチームもあったという。終了後は、決算書や事業報告書も作成し、優れた会社を表彰する。福水さんは「販売だけでなく、仲間と頑張った経験から学んでもらえれば」と期待する。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。

ふるさとフェスタの開催時間は午前10時〜午後3時30分。